

## 大規模小売店舗届出書

令和 8 年 3 月 31 日

千葉県知事 様

( 設置者 )

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

株式会社コスモス薬品

代表取締役 横山 英昭

住所 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号

大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称 ドラッグコスモスいすみ<sup>てん</sup>店

所在地 千葉県いすみ市日在字南御堂給 1559 番 3 ほか

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

名 称 株式会社コスモス薬品 代表取締役 横山 英昭

住 所 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和 8 年 12 月 1 日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1,374 m<sup>2</sup>

5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

位置	収容台数
別添図面 4 配置図：駐車場	52 台
合計	52 台

従業員等 29 台、総収容台数 81 台

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

位置	収容台数
別添図面 4 配置図：駐輪場	10 台
合計	10 台

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

位置	面積
別添図面 4 配置図：荷さばき施設	24.0 m <sup>2</sup>
合計	24 m <sup>2</sup>

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

位置	容量
別添図面 4 配置図：廃棄物保管施設	13.5 m <sup>3</sup>
合計	14 m <sup>3</sup>

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

開店時刻	閉店時刻	特記事項
午前 9 時	午後 10 時	

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

駐車場	利用可能な時間帯	特記事項
駐車場	午前 8 時 30 分 ~ 午後 10 時 30 分	

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

駐車場	出入口の数	位置
駐車場	2ヶ所	別添図面 4 配置図に記載のとおり
合計	2ヶ所	

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき施設	荷さばき可能な時間帯	特記事項
荷さばき施設	午前 6 時 ~ 午後 10 時	

## 添付書類

- 1 法人にあってはその登記事項証明書  
別添のとおり
- 2 主として販売する物品の種類  
別紙（小売業者一覧表）のとおり
- 3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面  
\* 建物配置図 図面 4 配置図  
\* 各階平面図 図面 5 平面図兼求積図

### 4 建物計画の概要

#### (1) 敷地の概要

敷地の面積 4,592.58 m<sup>2</sup>

法令に基づく用途等

都市計画区域	非線引き区域
用途地域	無指定地域

#### (2) 立地環境

計画地周辺の概要

JR 外房線の三門駅より南側に約 1,000m に位置し、国道 128 号に接しています。周辺は事業所・農地が点在する地域です。

隣接地の用途地域及び用途の現況

方角	用途地域	用途現況
北側	無指定地域	道路を挟んで農地、戸建住宅
東側	無指定地域	隣接して農地
南側	無指定地域	道路を挟んで事業所、戸建住宅
西側	無指定地域	隣接して店舗及び事業所、道路を挟んで駐車場、店舗

#### (3) 店舗建物の構造及び面積等

建物の構造

鉄骨造 地上 1 階建

建物面積の内訳

ア 建築面積 1,753 m<sup>2</sup>

イ 延床面積 1,718 m<sup>2</sup>

ウ 各階ごとの店舗等の面積及び延床面積等

(単位：㎡)

区分	店舗面積	利用者層が異なる併設施設 a		利用者層が同一の併設施設 b	その他(共用施設等)	延床面積
		オフィス	マンション			
1階	1,374	0	0	0	344	1,718
合計	1,374	0	0	0	344	1,718

利用者層が同一の併設施設(併設施設b)の内訳  
該当なし

5 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 指針による必要駐車台数の算出

事項等		各項目算出のための計算式等
行政人口	34,107人	令和8年1月1日現在 いすみ市ホームページより(住民基本台帳)
地区の区分	その他地区	用途地域：無指定地域
S：店舗面積	1.374千㎡	
A：店舗面積当たり 日來客数原単位	1,059人/千㎡	人口40万人未満： 店舗面積5,000㎡未満：1,100-30S
B：ピーク率	14.4%	
L：駅からの距離	1,000m	駅名：三門駅(JR外房線)
C：自動車分担率	80%	人口10万人未満、その他地区
D：平均乗車人員	2.0人/台	10,000㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.626	10,000㎡未満： $(30 + 5.5S) \div 60$
小売店舗の必要台数	52台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
届出台数	52台	

(2) 市町村条例等に基づく附置義務

附置義務の有無 無

条例等名称：-

(3) 特別な事情による必要駐車台数の算出

該当なし

(4) 併設施設利用者のための駐車場の必要台数について

併設施設はありません。

( 5 ) 届出駐車場の構造、収容台数、面積、敷地の状況及び駐車可能時間帯

駐車場		駐車場種類	平面駐車場（自走式）
来客が駐車する 可能性のある 駐車区画	駐車区画 の数	普通車用	80 台
		軽自動車用	-
		身障者用	1 台
		高齢者用	-
		総収容台数 (内訳)	81 台 (内訳：届出台数 52 台、従業員用 29 台)
	駐車区画 の大きさ	普通車用	2.5m × 5.0m = 12.5 m <sup>2</sup>
		軽自動車用	-
		身障者用	3.5m × 5.0m = 17.5 m <sup>2</sup>
		高齢者用	-
	面積（駐車区画の大きさ × 総収容台数）		1,017.5 m <sup>2</sup>
利用可能な出入口		合計 2ヶ所 (出入口、出入口)	
駐車料金の徴収の有無		無	
店舗専用・他の駐車場との共用の別		店舗専用	
敷地内・隔地の別（隔地の契約形態）		敷地内	
来客用利用可能時間帯 (来客以外も含めた利用可能時間帯)		午前 8 時 30 分 ~ 午後 10 時 30 分 ( - )	

( 6 ) その他の駐車場

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場 と共用・別途の別	収容台数
従業員駐車場	有	共用	29 台
業務用駐車場	無	-	-
合 計			29 台

6 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 敷地周辺の道路の状況

上段：道路 下段：道路名（通称）		道路 1 国道 128 号	道路 2 市道 3363 号線	道路 3 市道 3360 号線	
店舗からの方角		西側	南側	北側	
店舗駐車場の出入口 (有の場合、出入口)		有 (出入口)	有 (出入口)	無	
搬出入車両が使う出入口 (有の場合、出入口)		有 (出入口)	有 (出入口)	無	
幅員	車道	7.0m	6.8m	3.5m	
	車線数	片側交互 1 車線	1 車線	1 車線	
	歩道	店舗側	有 2.5m	無	無
		反対側	有 3.0m	無	無
	路肩・中央分離帯他	無	無	無	
合計		12.5m	6.8m	3.5m	
交通規制		無	無	無	
安全施設		無	無	無	
信号交差点の数 (右折帯設置の交差点の数)		0 交差点 (0 交差点)	0 交差点 (0 交差点)	0 交差点 (0 交差点)	
横断歩道等の有無		無	無	無	
通学路 の有無	店舗側	有	無	無	
	反対側	有	無	無	
バス路線の有無		有	無	無	
バス停の有無		無	無	無	
拡幅予定など		無	無	無	

(2) 駐車場の入庫処理能力

自走式で発券ブース等のない駐車場です。

(3) 敷地内駐車待ちスペース

出入口	駐車待ち スペースの 有無	実際に用意 する駐車待 ちスペース	発券 ブースの 有無	必要駐車待ちスペース		スペース「無」 の場合その理 由・対策
				長さ	算出根拠	
図面 4 配置図： 出入口 出入口	無	-	無	- 31.56		発券ブースがないので車両の入庫待ちによる待機はありません。

出入口に大規模小売店舗立地法の指針に基づくピーク時間帯から、想定される全来店台数が入庫すると想定し、下記計算式より必要駐車待ちスペースを算出。

(当該入口の 1 分当たりの来台数 × 1.6 - 当該入口の 1 分当たりの入庫処理可能台数) × 6m  
(平均車頭間隔)

入口：(84/60 × 1.6 - 60/8) × 6 = - 31.56

(4) 現状の平日、休日(日曜)それぞれの交通量調査の結果

調査年月日	休日：令和7年10月26日(日)8:00~23:00(15時間調査) 平日：令和7年10月27日(月)8:00~23:00(15時間調査)
調査場所	1~3交差点 別添交通報告書参照
調査委託先	21世紀商業開発株式会社
調査方法	調査地点において、通過する車両及び自転車・歩行者を方向別・種類別にカウンター等を用いて調査を実施
調査結果	別添交通報告書参照

(5) 開店後の周辺道路の交通量の予測

予測方法	来退店経路のピーク時の方面別車両台数を算出し、現況交通量(ピーク時)に発生交通量(ピーク時)を加えて予測を行いました。
予測の根拠	「改訂 平面交差の計画と設計 基礎編」参照
予測結果	別添交通報告書参照

7 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

(1) 来客の自動車を駐車場に案内する経路の設定

経路を示す図面		図面 6 車両経路図
商圈設定の考え方		ドラッグストア単体店舗であるため、既存店舗の実績を考慮し、店舗から半径1km以内を商圈として設定しました。
経路設定の考え方・配慮		周辺の生活道路を避ける経路設定としています。
入 出 庫 の 説 明	出入口	(来店) 店舗北方面 (国道128号を南進)からは左折入庫 (退店) 店舗南方面 (国道128号を南進)へは左折出庫
	出入口	(来店) 店舗南方面 (国道128号を北進)からは南側市道を経由して左折入庫 (退店) 店舗北方面 (国道128号を北進)へは右折出庫(南側市道を経由して国道を北進)

来店・退店の方面の番号は図面 6 車両経路図参照

(2) 来客の自動車を駐車場に案内する方法及び交通への支障を回避するための方策

項目		具体的な内容
案内表示の設置(敷地内、周辺)		駐車場内に案内看板等を設置し、来店客に経路を周知します。
ちらし等の配布・ホームページへの掲載などによる周知		必要に応じて、新聞折込広告等に案内経路図を掲載します。
交通整理員の配置		配置場所：駐車場出入口付近 人数：各1名 配置日時等：オープン時など
周辺道路に 通学路「有」 の場合の 安全策	来客車両に係る安全策	オープン時や繁忙期には誘導員を配置し安全確保に努めます。 出入口前で一旦停止を周知します。
	荷さばき車両に係る安全策	通学時間帯の荷さばきは極力避けます。
右折入出庫「有」の場合の解析結果、具体的安全対策等		出入口の右折出庫については、狭細な道路への帰宅車両の流入を避けるため設定しています。通過交通量も少ないため交通影響は少ないと考えます。路面標示等で安全に留意します。
その他交通への支障を回避するための方策		万が一、店舗を起因とする渋滞等の周辺交通への影響が発生した場合、適宜対策を検討します。

## 8 駐輪場の計画

### (1) 駐輪場の収容台数

届出収容台数：10台

### (2) 指針の参考値による必要駐輪台数の算出

S：店舗面積	1,374 m <sup>2</sup>
必要駐輪台数算出式	S：1,374 m <sup>2</sup> / 35 m <sup>2</sup> = 39
必要駐輪台数	40台

### (3) 市町村条例等に基づく附置義務

附置義務の有無 無

条例等名称：-

### (4) その他の事情による駐輪台数の算出

必要駐輪台数：9台

算出根拠

既存類似店舗実績から必要駐輪場台数を算定しました。

類似店舗は周辺人口や交通アクセスなどの立地環境等を考慮し、計画店舗より来客数が多いと見込まれる店舗を選定しました。

調査日は平均的な休日を設定しました。

店舗名	ドラッグコスモス 仁戸名店	ドラッグコスモス 柳沢店	ドラッグコスモス 大島田店	計画店舗 (いすみ店)
店舗面積	1,268m <sup>2</sup>	1,454m <sup>2</sup>	1,100m <sup>2</sup>	1,374m <sup>2</sup>
所在地	千葉市中央区 仁戸名町	野田市柳沢	柏市大島田	いすみ市日在
行政人口	22.1万人	15.1万人	43.8万人	3.4万人
立地環境	幹線道路(県道20号) 沿道 周辺住宅地 近隣大型店舗立地	幹線道路(県道3号) 沿道 周辺住宅地 近隣店舗立地	幹線道路(県道8号) 沿線(国道)近傍 住宅地近郊	幹線道路沿道 住居散在
調査結果	8台 (6.31台/千m <sup>2</sup> )	10台 <b>(6.88台/千m<sup>2</sup>)</b>	7台 (6.36台/千m <sup>2</sup> )	必要台数
・ピーク時駐輪台数 (自転車・原付)	16時台	12・16時台	16・17時台	9.45
・ピーク時間帯				1374m <sup>2</sup> × 6.88台/千m <sup>2</sup>
調査日	令和4年5月15日(日)	令和4年5月15日(日)	令和4年5月15日(日)	

計画店舗面積に、既存類似店舗実績の中で最大の千m<sup>2</sup>あたりの台数を乗じて算出した9台の駐輪場を確保する必要がありますが、計画店舗では10台の駐輪場を確保するため充足と考えます。なお、駐輪台数が不足する可能性がある場合には臨時的駐輪場を設ける等の対応を検討し、駐輪台数が不足しないよう配慮します。

(5) 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場	駐輪場構造	総収容台数			面積	駐輪区画の大きさ / 1台		料金徴収の有無
		自転車	原付	合計		自転車	原付	
駐輪場	平面式	10台	0台	10台	10 m <sup>2</sup>	0.5m × 2.0m	-	無
合計		10台	0台	10台	10 m <sup>2</sup>			

(参考) 自動二輪車用駐車場

車両駐車枠に案内します。

(6) 駐輪場の管理体制

整理員等の配置		配置場所：駐輪場付近 配置時間：繁忙時 人数：1名
管理体制	営業時間内	繁忙時には従業員が巡回し、違法駐輪が行われないよう注意喚起に努めます。
	営業時間外、深夜等	出入口を施錠し、安全確保に努めます。

(7) 駐輪場案内の表示方法

駐輪場看板の掲示及び路面標示を予定しています。

9 荷さばき施設の計画

(1) 荷さばき施設の面積・構造

荷さばき施設	届出面積	想定する車両 (想定する車両の大きさ)	同時作業 可能台数	待機スペース	
				有無 (待機可能台数)	届出面積に 含むか
荷さばき施設	24.0 m <sup>2</sup>	4 t	1台	無	-
合計	24 m <sup>2</sup>				

(2) 搬出入車両の出入口

荷さばき施設	搬出入車両の出入口の数(専用・兼用の別)	出入口
荷さばき施設	兼用2ヶ所	出入口、出入口

(3) 荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき施設	荷さばきを行うことができる時間帯
荷さばき施設	午前6時～午後10時

(4) 搬出入車両の安全策

荷さばき施設	出入口における安全策	敷地内での安全策
荷さばき施設	出入口前での一旦停止の周知徹底を指導し、事故防止に努めます。 ○通学時間帯の搬入車両の入出庫を避けるように努めます。通学時間帯に搬入車両がある場合はドライバーへの安全運行の周知徹底、従業員等にて安全を確保します。	営業時間中の搬入については、従業員等にて来客車両との交錯等がないよう安全確保に努めます。

10 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

【荷さばき施設】

時間帯	搬出入車両		廃棄物 車両... b	総合計 a + b	延べ処理時間 (搬出入 + 廃棄物)
	4t車	計... a			
6時～7時	1台	1台	0台	1台	20分
7時～8時	1台	1台	0台	1台	20分
8時～9時	2台	2台	0台	2台	40分
9時～10時	0台	0台	1台	1台	10分
10時～11時	0台	0台	1台	1台	10分
11時～12時	0台	0台	0台	0台	0分
12時～13時	0台	0台	0台	0台	0分
13時～14時	0台	0台	0台	0台	0分
14時～15時	0台	0台	0台	0台	0分
15時～16時	0台	0台	0台	0台	0分
16時～17時	0台	0台	0台	0台	0分
17時～18時	0台	0台	0台	0台	0分
18時～19時	0台	0台	0台	0台	0分
19時～20時	0台	0台	0台	0台	0分
20時～21時	0台	0台	0台	0台	0分
21時～22時	1台	1台	0台	1台	20分
合計	5台	5台	2台	7台	-
1台当たりの 平均的処理時間	20分	-	10分	-	-

【必要な荷さばき施設の確保の状況】

・同時作業可能台数：1台... A

・1時間当たり延べ処理可能時間：60分（60分×1台）... B

・ピーク時処理時間：8時～9時 延べ40分... C

B（1時間当たり延べ処理可能時間）> C（ピーク時処理時間）であり、ピーク時でも対応可能な計画としています。

11 遮音壁等を設置する場合にあつては、その位置及び高さを示す図面

該当なし

## 1.2 各関連施設から発生する騒音に対する対策の概要等

### (1) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場構造	届出台数 (総収容台数)		利用時間帯	施設面の 騒音対策	運用面の 騒音対策
平面 自走式	駐車場	52台 (81台)	午前8時30分～ 午後10時30分	駐車場内側溝蓋のボルト止等、衝撃音の発生を抑制します。	駐車マスにスムーズに出入り出来るようなレイアウトを検討し、アイドリング・クラクション・空ふかし等が抑えられるよう案内板等に掲示します。

### (2) 荷さばき施設及び作業に係る騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	荷さばき施設の十分なスペースを確保し、荷さばき時間の短縮に努めます。床の段差を解消し、騒音を極力小さくするよう努めます。
荷さばき作業の騒音対策	低騒音型台車を使用し、騒音を極力小さくするよう努めます。重量物の積み降ろしの際の衝撃音やドアの開け閉め等を最小限に抑えるよう指導し、徹底します。荷さばき車両のアイドリング禁止の徹底等、作業人員への騒音防止の徹底を掲示看板等を設置し指導します。

### (3) 廃棄物収集作業に係る騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の 騒音対策	運用面の 騒音対策
屋外 (1階)	午前9時～ 午前11時	床の段差を解消し、騒音を極力小さくするよう努めます。	深夜・早朝の作業を回避致します。重量物の積み降ろしの際の衝撃音やドアの開け閉め等、最小限に抑えるよう指導し、徹底します。騒音対策のため、作業の時間短縮に努めます。

### (4) BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用の有無 無

## 1.3 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間及び位置を示す図面

項目	設置の有無	設置数	騒音レベル	稼働時間帯	騒音対策	定格出力等
冷却塔	無	-	-	-	-	-
冷凍機室外機	有	5	59.0dB以下	24時間	低騒音機器の導入	7.5kw以下
空調機室外機	有	12	63.0dB以下	8時～23時	低騒音機器の導入	7.5kw以下
送風機	無	-	-	-	-	-
排気口	有	22	46.0dB以下	8時～23時	低騒音機器の導入	7.5kw以下
キュービクル	有	1	44.6dB	24時間	-	-

1.4 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

	予測地点		昼間 (午前6時～午後10時)		夜間 (午後10時～午前6時)		評価
	高さ (m)	用途地域 (地域の類型)	環境基準 (dB)	予測結果 (dB)	環境基準 (dB)	予測結果 (dB)	
A	4.2	無指定地域 (C類型)	60	42	50	35	
B	1.2	無指定地域 (C類型)	60	58	50	37	
C	1.2	無指定地域 (C類型)	60	47	50	33	
D	4.2	無指定地域 (C類型)	60	49	50	42	

予測結果の根拠資料は、騒音予測資料を参照

【予測結果の評価について】

等価騒音レベルの予測結果は、全地点で環境基準値を下回ります。

以上のことから、今回の計画に伴う周辺地域への影響は軽微であると考えられます。

なお、周辺から御意見があった場合や店舗による騒音の影響が懸念される場合等には、誠意をもって対応していきます。

15 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音の発生が見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

(1) 夜間に発生する設備機器等騒音の最大値の予測結果

定常騒音

対象騒音源		音源		店舗敷地境界			評価
		位置	高さ (m)	予測値 (dB)	用途地域 (区域区分)	規制値 (dB)	
空調用室外機	S1	R階	7.2	33	無指定地域 (その他の地域)	50	
空調用室外機	S2	R階	7.2	35		50	
空調用室外機	S3	R階	7.2	39		50	
空調用室外機	S4	R階	7.2	39		50	
空調用室外機	S5	R階	7.2	39		50	
空調用室外機	S6	R階	7.2	37		50	
空調用室外機	S7	R階	7.2	40		50	
空調用室外機	S8	R階	7.2	40		50	
空調用室外機	S9	R階	7.2	40		50	
空調用室外機	S10	R階	7.4	33		50	
空調用室外機	S11	1階	7.4	<30		50	
空調用室外機	S12	1階	7.4	<30		50	
冷凍冷蔵用室外機	R1	R階	7.0	40		50	
冷凍冷蔵用室外機	R2	R階	7.2	<30		50	
冷凍冷蔵用室外機	R3	R階	7.2	35		50	
冷凍冷蔵用室外機	R4	R階	7.2	<30		50	
冷凍冷蔵用室外機	R5	R階	7.2	36		50	
給排気口	K1	1階	4.3	<30		50	
給排気口	K2	1階	4.3	40		50	
給排気口	K3	1階	4.3	40		50	
給排気口	K4	1階	4.3	<30		50	
給排気口	K5	1階	4.3	<30		50	
給排気口	K6	1階	4.3	<30		50	
給排気口	K7	1階	4.3	40		50	
給排気口	K8	1階	4.3	40		50	
給排気口	K9	1階	4.3	40		50	
給排気口	K10	1階	4.3	40		50	
給排気口	K11	1階	4.3	40		50	
給排気口	K12	1階	4.3	40		50	
給排気口	K13	1階	4.3	40		50	
給排気口	K14	1階	4.3	40		50	
給排気口	K15	1階	4.3	35		50	
給排気口	K16	1階	4.3	35		50	
給排気口	K17	1階	4.3	35	50		
給排気口	K18	1階	4.3	35	50		
給排気口	K19	1階	4.3	35	50		
給排気口	K20	1階	4.3	<30	50		
給排気口	K21	1階	4.3	<30	50		
給排気口	K22	1階	4.3	<30	50		
キュービクル	Q	R階	7.2	<30	50		

変動騒音

(店舗敷地境界)

対象騒音源		音源		店舗敷地境界			
		位置	高さ (m)	予測値 (dB)	用途地域 (区域区分)	規制値 (dB)	評価
来店車両	A1	駐車場	0.5	74	無指定地域 (その他の地域)	50	×
来店車両	A2	駐車場	0.5	61		50	×
来店車両	A3	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A4	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A5	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A6	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A7	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A8	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A9	駐車場	0.5	58		50	×
来店車両	A10	駐車場	0.5	68		50	×
来店車両	A11	駐車場	0.5	50		50	×
来店車両	A12	駐車場	0.5	47		50	
来店車両	A13	駐車場	0.5	47		50	
来店車両	A14	駐車場	0.5	51		50	×
来店車両	A15	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A16	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A17	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A18	駐車場	0.5	51		50	×
来店車両	A19	駐車場	0.5	48		50	
来店車両	A20	駐車場	0.5	48		50	
来店車両	A21	駐車場	0.5	51		50	×
来店車両	A22	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A23	駐車場	0.5	56		50	×
来店車両	A24	駐車場	0.5	56		50	×
来店車両	A25	駐車場	0.5	56		50	×
来店車両	A26	駐車場	0.5	56		50	×
来店車両	A27	駐車場	0.5	56		50	×
来店車両	A28	駐車場	0.5	55		50	×
来店車両	A29	駐車場	0.5	74		50	×

(保全隣地敷地境界)

対象騒音源		音源		保全区域			保全区域での予測地点	
		位置	高さ (m)	予測値 (dB)	用途地域 (区域区分)	規制値 (dB)		評価
来店車両	A1	駐車場	0.5	51	無指定地域 (その他の地域)	50	×	a1
来店車両	A2	駐車場	0.5	49		50		a2
来店車両	A3	駐車場	0.5	47		50		a3
来店車両	A4	駐車場	0.5	47		50		a4
来店車両	A5	駐車場	0.5	47		50		a5
来店車両	A6	駐車場	0.5	47		50		a6
来店車両	A7	駐車場	0.5	49		50		a7
来店車両	A8	駐車場	0.5	53		50	×	a8
来店車両	A9	駐車場	0.5	58		50	×	a9
来店車両	A10	駐車場	0.5	68		50	×	a10
来店車両	A11	駐車場	0.5	46		50		a11
来店車両	A14	駐車場	0.5	51		50	×	a14
来店車両	A15	駐車場	0.5	55		50	×	a15
来店車両	A16	駐車場	0.5	55		50	×	a16
来店車両	A17	駐車場	0.5	55		50	×	a17
来店車両	A18	駐車場	0.5	51		50	×	a18
来店車両	A21	駐車場	0.5	45		50		a21
来店車両	A22	駐車場	0.5	47		50		a22
来店車両	A23	駐車場	0.5	50		50		a23
来店車両	A24	駐車場	0.5	50		50		a24
来店車両	A25	駐車場	0.5	50		50		a25
来店車両	A26	駐車場	0.5	50		50		a26
来店車両	A27	駐車場	0.5	55		50	×	a27
来店車両	A28	駐車場	0.5	55		50	×	a28
来店車両	A29	駐車場	0.5	57		50	×	a29

(直近住居外壁)

対象騒音源	音源		直近住居外壁			評価	直近住居外壁での予測地点
	位置	高さ (m)	予測値 (dB)	用途地域 (区域区分)	規制値 (dB)		
来店車両	A1	駐車場	0.5	36	無指定地域 (その他の地域)	50	a29'
来店車両	A8	駐車場	0.5	36		50	a10'
来店車両	A9	駐車場	0.5	36		50	a10'
来店車両	A10	駐車場	0.5	37		50	a10'
来店車両	A14	駐車場	0.5	37		50	a29'
来店車両	A15	駐車場	0.5	38		50	a29'
来店車両	A16	駐車場	0.5	39		50	a29'
来店車両	A17	駐車場	0.5	40		50	a29'
来店車両	A18	駐車場	0.5	39		50	a29'
来店車両	A27	駐車場	0.5	42		50	a29'
来店車両	A28	駐車場	0.5	41		50	a29'
来店車両	A29	駐車場	0.5	43		50	a29'

夜間の騒音レベルの最大値の予測は、各騒音源より最も近い自敷地境界に各騒音源と同じ高さで個別に設定しました。

【予測結果の評価について】

夜間における騒音源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果は、設備機器の騒音値についてはすべての音源が自敷地境界で規制基準値を下回ります。変動騒音については、一部の来客車両走行音が敷地境界及び保全区域で規制基準値を上回りますが、直近住居外壁で規制値を下回ります。よって、今回の計画に伴う周辺地域への影響は軽微であると考えられます。

なお、周辺から御意見があった場合や店舗による騒音の影響が懸念される場合等には、誠意をもって対応していきます。

(2) 夜間における騒音レベルの最大値の合成値の予測結果

予測地点	規制値 (dB)	予測値 (dB)	用途地域
ア (自敷地境界)	50	43	無指定地域 (その他の地域)
イ (自敷地境界)	50	47	
ウ (自敷地境界)	50	48	

【予測結果の評価について】

夜間における騒音レベルの最大値の合成値の予測結果は、自敷地境界で規制値を下回るため、周辺生活環境への影響は軽微であると思われます。

なお、周辺から御意見があった場合や店舗による騒音の影響が懸念される場合等には、誠意をもって対応していきます。

16 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測結果及びその算出根拠

(1) 廃棄物等の排出量等の予測

廃棄物等の種類	S:店舗面積		A:1日当たり廃棄物等の排出予測量(指針原単位×S)	B:平均保管日数	C:見かけ比重	廃棄物等の排出予測量(保管容量) (A×B÷C)
	1,374 m <sup>2</sup>		(t)	(日)	(t/m <sup>3</sup> )	
紙製廃棄物	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.374千m <sup>2</sup>	0.286	1	0.10	2.86
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	0.000千m <sup>2</sup>	0.000			
	計		0.286			
金属製廃棄物	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.374千m <sup>2</sup>	0.010	1	0.10	0.10
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	0.000千m <sup>2</sup>	0.000			
	計		0.010			
ガラス製廃棄物	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.374千m <sup>2</sup>	0.008	1	0.10	0.08
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	0.000千m <sup>2</sup>	0.000			
	計		0.008			
プラスチック製廃棄物	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.374千m <sup>2</sup>	0.027	1	0.01	2.75
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	0.000千m <sup>2</sup>	0.000			
	計		0.027			
生ごみ等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.374千m <sup>2</sup>	0.232	1	0.55	0.42
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	0.000千m <sup>2</sup>	0.000			
	計		0.232			
その他の可燃性廃棄物等	1.374千m <sup>2</sup>	0.074	1	0.38	0.20	
					合計	6.41

(2) 特別な事情による廃棄物等の予測排出量

該当なし

(3) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況

該当なし

(4) 廃棄物等の保管場所の計画

【廃棄物保管施設】

ア 廃棄物保管施設の計画

廃棄物の種類	保管可能な容量 (A×B)	保管可能な面積A	保管可能な高さB	廃棄物保管施設の位置
紙製廃棄物	4.50m <sup>3</sup>	3.0m <sup>2</sup>	1.5m	図面 4配置図
金属製廃棄物	1.50m <sup>3</sup>	1.0m <sup>2</sup>	1.5m	図面 4配置図
ガラス製廃棄物	1.50m <sup>3</sup>	1.0m <sup>2</sup>	1.5m	図面 4配置図
プラスチック製廃棄物	3.00m <sup>3</sup>	2.0m <sup>2</sup>	1.5m	図面 4配置図
生ごみ等	1.50m <sup>3</sup>	1.0m <sup>2</sup>	1.5m	図面 4配置図
その他の可燃性廃棄物等	1.50m <sup>3</sup>	1.0m <sup>2</sup>	1.5m	図面 4配置図
合計	13.50m <sup>3</sup>	9.0m <sup>2</sup>	-	
(参考)廃棄物保管施設全体の面積(C)		9.0m <sup>2</sup>	(C/A)	

イ リサイクル品（再利用対象物）保管施設の計画

紙製廃棄物等・金属製廃棄物等・ガラス製廃棄物等・プラスチック製廃棄物等及び生ゴミ等のリサイクル品保管施設は廃棄物等保管施設と兼用します。

ウ 廃棄物等保管施設の容量（届出容量＝保管可能な容量の合計）

廃棄物保管施設の容量	13.50 m <sup>3</sup>
------------	----------------------

廃棄物保管施設の総容量	14 (13.50) m <sup>3</sup> 6.41 m <sup>3</sup> (指針の予測量合計)
-------------	--

1.7 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画・食品加工場の計画

(1) 廃棄物減量化・リサイクル計画

ア 法令への対応

食品リサイクル法対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜等の食品廃棄物は食品リサイクル法の基本方針に基づき、発生の抑制・減量について従業員と意識を共有し取り組みます。</li> <li>処理業者へ委託し、生ゴミは堆肥・飼料等に再利用します。</li> </ul>
容器包装リサイクル法対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレー、牛乳パックのリサイクルボックスの設置をする計画です。</li> <li>処理業者へ委託し、段ボールや再生紙、プラスチック加工原料等に再利用します。</li> </ul>
家電リサイクル法対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>家電製品の取り扱いはありません。</li> </ul>
小型家電リサイクル法対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし</li> </ul>
資源有効利用促進法対応 (パソコン等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし</li> </ul>

イ その他廃棄物減量化・リサイクルの取組

商品搬入時における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>過剰包装を極力行わないように、納品業者に徹底します。</li> <li>余剰発注を行わず、必要最低限の発注を行うことで、廃棄物発生の抑止に努めます。</li> </ul>
営業活動における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の分別を行い、減量化及びリサイクルに取り組みます。</li> <li>商品購入時の簡易包装の呼びかけに努めます。</li> </ul>
地域住民等の意識を高めるための活動内容の公表等の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>店頭のリサイクルボックスを適切に設置する計画です。</li> </ul>
その他取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化に向けて、廃棄物保管場所にポスターを掲示し、意識強化を行います。</li> </ul>

ウ 廃棄物リサイクル・処理計画

廃棄物の種類	リサイクル割合	処理方法・資源化後の利用方法 (主なもの)	処分業者
紙製廃棄物等	100%	段ボールや再生紙に再生	未定(許可業者)
金属製廃棄物等	100%	金属加工原料に再生	未定(許可業者)
ガラス製廃棄物等	100%	ガラス加工原料に再生	未定(許可業者)
プラスチック製廃棄物等	100%	プラスチック加工原料に再生	未定(許可業者)
生ごみ等	95%	堆肥、飼料として再生、焼却	未定(許可業者)
その他の可燃性廃棄物等	0%	焼却	未定(許可業者)

(2) 食品加工場等計画

食品加工場はありません。

18 防災・防犯対策への協力

(1) 防災対策

防災協定等締結(予定)の有無	無
締結(予定)協定の内容	-
協定以外の防災対策への協力	行政や交通機関の情報提供等の広報活動支援に努めます。

(2) 小売店舗に係る防犯対策

<p>警備員等が定期的に巡回することで事件・事故等が発生しないように努めます。                  駐車場・駐輪場及び場内は、閉店後チェーンバリカーにより施錠・管理し、警備会社による機械警備を行います。                  店内各所に防犯カメラを設置します。</p>
---

(3) 併設施設における防犯対策・非行防止策

該当なし

## 1 9 街並みづくり等への配慮に関する事項

### ( 1 ) 街並みづくり等への配慮事項

【計画等名】千葉県屋外広告物条例
【上記計画に沿って、当該店舗において配慮する事項】 落ち着いたイメージとして周辺との調和を図ります。 屋外広告物の設置に際しては、屋外広告物条例を遵守します。

### ( 2 ) 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	必要緑化面積算出根拠
4,592.58 m <sup>2</sup>	232.96 m <sup>2</sup> ( 5.1% )	必要緑化面積：敷地面積の 3% 根拠法令：都市計画法第 33 条 算出式：4,592.58 × 3% = 133.78 m <sup>2</sup>
< 緑化の内容 > 主に敷地西側、南側、東側に芝などで緑化します。		

### ( 3 ) 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	未定	未定
照明灯の方向	敷地内方向 ( 下部開放型照明器具を採用し、店舗出入口、駐車場、駐輪場の方向を照らす )	下向で広告面を照らす方向
照明の強さ	400W	400W
点灯時間	日没から駐車場利用時間終了まで	日没から閉店時刻まで
光害対策	敷地外への光を遮るようにします。 広告塔照明は広告面のみを照射するように設置します。	

### ( 4 ) その他、景観への配慮

特記すべき事項	周辺の建物と調和の取れる色彩（主に茶色等）を使用し、奇抜な色を避け、景観に溶け込む色彩を用います。
---------	---

## 2 0 歩行者の通行の利便性の確保

歩行者の通行の利便性の確保	歩行者用通路を駐車場内に設置します。 混雑が予想される場合は、適宜交通整理員を配置して交通安全に努めます。
夜間照明等の設置	有

## 2 1 その他、設置者及び小売業者が指針で求めている配慮事項以外に地域社会へ協力できる事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の地元雇用の促進に努めます。</li> <li>・災害発生時は積極的に地域住民の利便性確保に努めます。</li> <li>・身障者駐車場を店舗出入口近くに設定します。</li> </ul>
---

2.2 届出事項一覧表

届出事項			
店舗面積		1,374 m <sup>2</sup>	
駐車場の位置及び収容台数	位 置	図面 4 配置図	
	収容台数	駐車場	52 台
駐輪場の位置及び収容台数	位 置	図面 4 配置図	
	収容台数	駐輪場	10 台
荷さばき施設の位置及び面積	位 置	図面 4 配置図	
	面 積	荷さばき施設	24 (24.0) m <sup>2</sup>
廃棄物等の保管施設の位置及び容量	位 置	図面 4 配置図	
	容 量	廃棄物保管施設	14 (13.5) m <sup>3</sup>
開店時刻及び閉店時刻	開店時刻	午前 9 時	
	閉店時刻	午後 10 時	
来客が駐車場を利用することができる時間帯		午前 8 時 30 分 ~ 午後 10 時 30 分	
駐車場の自動車の出入口の数及び位置	数	2 ヶ所	
	位 置	図面 4 配置図	
荷さばきを行うことができる時間帯		午前 6 時 ~ 午後 10 時	

別紙（小売業者一覧表）

番号		氏名（名称）	法人の場合代表者の役職名及び氏名	住所（所在地）	主として販売する物品の種類	店舗面積（㎡）	開店時刻	閉店時刻	特記事項
店	業者								
1	1	株式会社 コスモス薬品	代表取締役 横山 英昭	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号	医薬品・生活用品	1,374	午前9時	午後10時	-
	小売業者 数合計	1者			面積合計	1,374			